



にししょう

西小だより

「強く 正しく 健やかに」

令和3年 6月14日(月)第5号 校長 都外川 潔



ホームページはこちら→

ことば 言葉の大切さについて…

全校朝会で、次のようなことを話しました。



せんじつ 先日、5・6年生のみなさんが、一生懸命にプール掃除をしてくれました。そして、そのときに、素晴らしい姿を見ることができました。通りがかった1年生がプールに向かって「ありがとうございます」と、お礼を言っていたのです。プール掃除をがんばっていた人たちも、うれしかっただろうなと思いました。

このように、私たちが話す言葉は、人を元気にしたり喜ばせたりする力があるのです。みなさんも、言ってもらったうれしい言葉を思い出してみてください。なんだかうれしい気持ちになりますよね。ただ、残念なことに、私たちが話す言葉は、人の心を傷つけてしまうこともあるのです。心を傷つけるいやな言葉は、だれも聞きたくありません。そんな言葉を、あなたは言いませんか？

い 言ってしまったなあと思った人へ。あなたの口から出たその言葉は、もうひっこめることはできません。過去は変えられないのです。でも、未来はあなたの力で変えることができます。あなたの口から出る言葉が、人を元氣にする言葉なのか、傷つける言葉なのか。それはあなたが決めることができます。

もちろん、私はみなさんが人を元氣にする言葉を話せることを、心から願っています。
がっこう 学校は、勉強をするところです。でも、教科書に書いてあることがわかるように、できるようになるだけが勉強ではありません。休み時間だって、勉強なのです。何のことか、わかりますか？

それは、こういうことです。先生がいなくても、他の人にいやなことをせずに、おだやかに過ごすことができる。学校では、このことがとても大切な勉強なのです。

じゅぎょうちゅう 授業中は「答えがわかる」だけではなくて、「先生や友達の話を静かに聞く」、「勝手なおしゃべりで人をこまらせない」ことも大切な勉強なのです。

ひと このようなことができている人は、優しい心と強い心をもっています。自分をほめてあげていいですよ。先生たちは、優しい心と強い心が育つようについている思いで、みなさんを見ています。

わたし 私も、みんなの教室に来て、よいところをほめたり、がんばってほしいことを注意したりすることがあると思います。そのときは、今日の話を思い出して、がんばってくれるうれしいです。

はなし あと あさ こうつうしどう さい この話をした後、朝の交通指導の際に、たくさんの児童が「校長先生、いつもありがとうございます。」と言ってくれました。うれしいことです。私は、もう1年分くらいの「ありがとうございます。」をいただいたので、もう十分です。その分を、家族や友達や先生たちに言ってくださいね…と子どもたちには伝えました。がっこう かてい あたた ことば こ 学校でも、家庭でも、温かい言葉を子どもたちにかけていきたいですね。